学校番号	２１５

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版）						
副教材等	「新詳日本史」（浜島書店）、「山川一問一答日本史」（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

受験を考えている人は（学）現代の日本史（近現代史）も必ずとってください。
私大一般、共通テストで受験を考えている人向きです。
授業に集中して取り組むこと。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。
【学びに向かう力、人間性等】
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	原始	第1章日本文化のあけぼの 1文化の始まり 2農耕社会の成立	a：日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 b：小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c：日本列島における小国およびヤマト政権と中国・朝鮮半島などとの交流について考察することを通じて、古代の対外交流の実態を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	古代	第2章古墳とヤマト政権 1古墳文化の展開 2飛鳥の朝廷	a：国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 b：中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	古代	第3章律令国家の形成 1律令国家への道 2平城京の時代 3律令国家の文化 4律令国家の変容	a：隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 b：文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。	定期考査	定期考査	小テスト ノート

			c：隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。			
	古代	第4章貴族政治の展開 1摂関政治 2国風文化 3地方政治の展開と武士	a：藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b：国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 c：国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	中世	第5章院政と武士の躍進 1院政の始まり 2院政と平氏政権	a：貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b：武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	中世	第6章武家政権の成立 1鎌倉幕府の成立 2武士の社会 3モンゴル襲来と幕府の衰退 4鎌倉文化	a：諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 b：武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。 c：宋・元などユーラシアとの交	定期考査	定期考査	小テスト ノート

			流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。			
2学期	武家社会の成立	第7章　武家社会の成立 1　室町幕府の成立 2　幕府の衰退と庶民の台頭 3　室町文化 4　戦国大名の登場	a：鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。 b：自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	近世の幕開け	第8章　近世の幕開け 1　織豊政権 2　桃山文化	a：村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b：豊臣政権による朝鮮出兵やヨーロッパ勢力との接触による南蛮文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	幕藩体制の成立と展開	第9章　幕藩体制の成立と展開 1　幕藩体制の成立 2　幕藩社会の構造 3　幕政の安定 4　経済の発展 5　元禄文化	a：織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化などに着目して、諸資料をもとに江戸幕府の法や制度の確立や対外政策の推移について理解している。 b：戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察	定期考査	定期考査	小テスト ノート

			し、表現している。 c：近世前期における交通・流通の発達や産業の発達などの様相について、その推移や展開を明らかにしようとしている。			
	幕藩体制の動揺	第10章　幕藩体制の動揺 1　幕政の改革 2　宝暦･天明期の文化 3　幕府の衰退と近代への道 4　化政文化	a：幕府・諸藩の経済的窮乏、百姓一揆･打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の諸政策の意義について理解している。 b：幕藩体制の動揺と文化の展開との関連性について、諸資料から読み取れる情報をもとに多面的・多角的に考察し、表現している。 c：飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	近世から近代へ	第11章　近世から近代へ 1　開国と幕末の動乱 2　幕府の滅亡と新政府の発足	a：欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 b：日本がどのような契機によって近代的な社会の形成に向かっていくことになるのか、近代の特色を探究するための時代を通観する問いを表現している。 c：日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	近代国家の成立	第12章　近代国家の成立 1　明治維新と富国強兵 2　立憲国家の成立	a：明治政府による中央集権化の諸政策と士族反乱の終焉、欧米・アジア諸地域との国際関係、文明開化の風潮について、諸資料から情報を読み取って理解している。 b：国内体制を欧米の水準に合わ	定期考査	定期考査	小テスト ノート

			せることが改革の前提にあったことを踏まえ、社会構造の変化や地方自治の展開について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：明治維新や文明開化の風潮が展開する中で生じた様々な課題や、歴史の展開における画期についての課題を見出し、主体的に追究しようとしている。			
	近代国家の展開	第13章　近代国家の展開 1　日清・日露戦争と国際関係 2　第一次世界大戦と日本 3　ワシントン体制	a：日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 b：大戦中の日本の動向を踏まえ、中国や朝鮮をはじめとするアジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 c：東アジア・太平洋地域における国際協調体制の特質を考察することを通じて、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
3学期	立憲国家	1自由民権運動と立憲制 2日清・日露戦争 3産業革命と明治文化	a：明治国家成立とその延長の戦争の展開について知識を身につけ、資料を読み取る技能がある b：明治国家成立とその延長の戦争の展開から課題を見いだし，東アジア世界の動向と関連付けて多面的・多角的に考察している。 c：明治国家成立とその延長の戦争の展開に対する関心と課題意識を高め，意欲的に探究している。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	第一次世界大戦と日本	1政党政治の展開 2ワシントン体制 3市民文化		定期考査	定期考査	小テスト ノート
	昭和恐慌	1恐慌の時代 2政党内閣時の内政と外交 3軍部の台頭	a：恐慌の時代から戦争体制への推移，社会・文化の動向について知識を身につけ、資料を読み取る技能がある。	定期考査	定期考査	小テスト ノート

		４日中戦争 ５第二次世界大戦	b: 恐慌から戦争体制への推移，社会・文化の動向から課題を見いだし，国際関係の変化とその影響とを関連付けて多面的・多角的に考察している。 c: 恐慌の時代から戦争体制への推移，社会・文化の動向に対する関心と課題意識を高め，意欲的に探究している。			
	占領下の日本と経済繁栄	１占領と改革 ２冷戦の開始と講和 ３　５５年体制 ４高度経済成長期の経済と社会	a: 終戦から復興の日本の歩みと世界との関わりの歴史について知識を身につけ、資料を読み取る技能がある。 b: 終戦から復興の日本の歩みと世界との関わりのと、我が国が経済を中心に復興していく政治的、社会的要因を整理し正しく判断できている。 c: 終戦から復興の日本の歩みと世界との関わりの歴史に対する関心と課題意識を高め，国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人として責任を果たそうとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート
	現代の世界と日本	１冷戦の終結と日本 ２日本社会の動揺	a:冷戦の終結、高度成長の終焉の後の日本はどうあるべきかなど、現在まで続く課題についての知識を身につけ、資料を読み取る技能がある。 b: 西側陣営の一員として日本が独立し、アメリカとの関係を深めることで成長した過程を正しく考察できている。 c:冷戦の終結、高度成長の終焉の後の日本はどうあるべきか、将来の主権者として主体的に考えようとしている。	定期考査	定期考査	小テスト ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度